

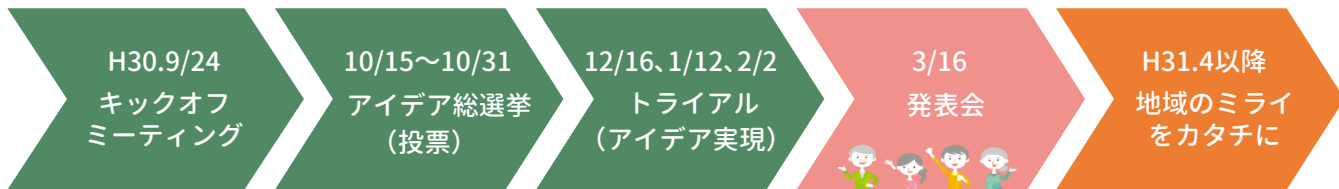
あすか野ミライ会議の発表会を開催しました！

- ◆日時：平成31年3月16日（土）13:00～15:00
- ◆場所：あすか野小学校ふれあいホール
- ◆参加者：50人
- ◆プログラム
 - ・ あすか野ミライ会議について
 - ・ 特別講演：近畿大学教授 久隆浩先生
「楽しみながら始めるまちづくり」
 - ・ 各プロジェクト内容の発表
 - ・ ミライ会議の今後について
 - ・ コメント（市長、久先生）



あすか野ミライ会議について

①ミライ会議を実施している背景や目的、②あすか野を選んだ理由、③キックオフミーティングから発表会までの流れなどについて、生駒市から説明しました。



講演「楽しみながら始めるまちづくり」






近畿大学総合社会学部教授の久隆浩先生から、楽しみながらまちづくりを始めるためのヒントなどをお話いただきました。

- ・ これまでのまちづくりは、活動の規模に合わせて必要な人を動員していたが、活動の規模が大きいと継続が難しい。これからは、人員から活動の規模を考えていくという、逆転の発想が必要になってくる。
- ・ 活動の仕方には、仕組みや組織で人を動かす階層組織型と、楽しく始めて仲間を増やすネットワーク型の2つがある。
- ・ すぐに動かないといけない活動やしっかりと担わなければならない活動は階層組織型が適しており、とりあえずやってみる活動や長続きさせたい活動はネットワーク型が適している。
- ・ これからはネットワーク型が地域でますます重要になってくる。リーダーではなく、みんなをその気にさせる人、みんなが動ける環境やきっかけをつくるファシリテーターが核となる。
- ・ 楽しさややりがいを感じる活動は長続きする。どうやって楽しさを周りに伝えていくかがポイントである。「できるときに、できる人が、できることを、無理なく、楽しく」がポイント。

各プロジェクトの発表



各プロジェクトの取り組み内容やメンバーの思いなどをプレゼンしました。パワーポイントを使った発表や寸劇を披露するチームもあり、会場は大盛り上がり。発表を聞いた人が感想やメッセージなどを書く「応援カード」には、好意的な内容が多く寄せられました。

プロジェクト名	ねらい（解決したい課題）	取り組み内容	メッセージ
	<ul style="list-style-type: none"> ・シャッターを開け、賑わう通りに ・スペースや時間をシェアしても◎ →まずはお店を知る&お試し出店 	商店前スペースでマルシェを定期開催。雑貨や飲食、サロンなど。歩いて楽しむきっかけに。	今年秋の初回開催に向けて、まずはお店の方にご挨拶&出店者さんや当日お手伝いを募集します！
	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間の交流、仲間づくり ・地域資源（人・場）の活用 ・地域で子育て 	放課後学習支援の場と、楽しむ仲間が小さく集える場を開催。	興味のある方、協力してくださる方は「 asukanomanabiya@gmail.com 」にメールください！
	<ul style="list-style-type: none"> ・あすか野の宝「緑道の美しい桜」を未来に引き継ぐ ・桜を介して「あすか野愛」を育む 	桜の開花期間中、桜並木を飾り付け雰囲気演出。お気に入り桜の人気投票やスタンプラリーを実施。	地域の人が「楽しむ×出会う」場を演出するため、2020年春開催に向け、準備を進めています！
	<ul style="list-style-type: none"> ・多世代が交流できる場づくり ・こどもの理科離れをなくす ・地域の魅力再発見・発信 	夏休み期間中に星空と国際宇宙ステーションの観望会を開催。	プレ観望会を随時開催！興味のある方は「 z9058913722@docomo.ne.jp 」にメールください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・物を大切にするリユース、環境学習 ・地区内を歩くことで、健康、防犯、交流につなげる 	使わなくなった物を自宅の前に並べて、必要な方に持ち帰ってもらうリユースマーケット。	毎月20日はあすか野断捨離日！マップを見ながらみんなで家宝探し。6月20日スタート！

市長コメント

- ・5つのプロジェクト全てがワクワクする取り組みであり、心から感動した。
- ・「あすか野がこうなればいいな」ということをカタチにするために地域の皆さんが考え行動していることが、生駒市のまちづくりの理想形だと感じた。
- ・どのプロジェクトも開催時期など具体的な提案や工夫がされていて、実現が楽しみ。
- ・得意分野のある人を掘り起こし、異なるバックグラウンドの人たちが集まり実現しようとしていることが素晴らしい。楽しさを忘れず、次の展開につなげてほしい。

久先生コメント

- ・さまざまな資源をもっている人がいるとプロジェクトは始めやすい。そうでなくても、足りない部分をみんなで補い合うことで、プロジェクトは始められる。
- ・何かを始めるときは「できるか」「できないか」「できる方法を考えるか」の3つしかない。
(名張のまちづくり協議会参加者の言葉)
- ・SNSを使うと簡単に情報発信ができる。SNSを使えない人はSNSを使える人から情報をもらうのが良いのでは。
- ・吹田市の北千里では、17年以上も続くまちづくり井戸端会議がある。これは来たい人が来て、言いたいことを言って、動かしていくものであり、ここからいくつものプロジェクトが生まれている。

応援カードに寄せられたメッセージ（一部抜粋）



「歩いていける場所であつたら楽しいなあと思いました」
「昔のあすか野商店街のにぎわいを思い出しました」
「小・中・高校生が学校企画でお店をするのもトライアル・社会勉強となるかな〜と」



「子どもが囲碁の相手を欲しがっています。すぐにでも始めてほしい」
「住み開き、ステキですね。知り合いも増えそうでワクワクします」
「やってみたいけど1人では始めにくいことも、これならできそうだなと思いました」



「あすか野の桜並木は本当にきれいですよね！おまつり、スタンプラリー楽しみです!!」
「フォトコンテストなんか「参加してる！」感がでてよいのでは？」
「あすか野の桜は地域の誇り、シンボルと思います」



「とても夢のあるステキなプロジェクト。若い2人のプレゼンが良かったです」
「特に子どもが楽しみにしています！ISSみたいです」
「5年生の授業で星を習うので、ワークショップめっちゃいいですねー」



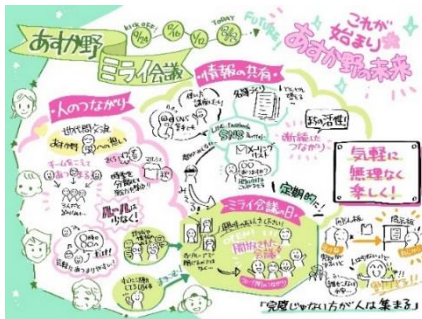
「防犯にも、外出のきっかけにも、気軽にいいなと思いました」
「資源の有効活用につながるいい企画。お宝を発掘していきたいです」
「すごく新しい発想のプロジェクト。うまくいけば全国のモデルにもなるのでは」



ミライ会議の今後について

ミライ会議終了後も取り組みを継続していくためにどうすればいいか、前回のワークショップで参加者が話し合った内容について、近畿大学総合社会学部准教授の田中晃代先生から解説いただきました。

- ・まちのことを話し合う会議は、誰でも入れるオープンなもののがのぞましい。
- ・1・2ヶ月に1回程度でもいい。できるだけルール少なくやっていく。例えば「遅刻も途中退室もOK」など。
- ・「こんなことしたい」「こんなだったら楽しそう」という新しいプロジェクトが他にも生まれるかも。
- ・完璧じゃない方が人は集まる。まずは試しにやってみるのがいいのではないかな。



参加者が話し合った内容（トライアル第3回）



「気軽に、無理なく、楽しく」がキーワード

お問い合わせ 生駒市都市計画課 TEL 0743-74-1111（内線564、567）

※ミライ会議のこれまでの様子や資料は、市ホームページ内のあすか野ミライ会議のページでご覧いただけます。

ミライ会議参加者からのお知らせ

これからも月に1回「ミライ会議」を開催します！

既に動き出しているプロジェクトの進捗状況の共有や、実現したい新たなプロジェクトの相談・意見交換などをするために、あすか野住民が中心となり、これからも毎月ミライ会議を開催することになりました。申込不要でどなたでも参加でき、途中参加・退出も自由です。皆さんも参加してみませんか。

■とき・ところ

偶数月…毎月第1日曜日 17時から、北集会所
奇数月…毎月第1火曜日 10時から、南集会所

※開催日や場所等が今後変更になった場合は、以下のFacebookページ等でお知らせします。



4月7日(日)に開催したミライ会議の様子

Facebookページ「あすか野ミライ会議 情報局」を開設しました！

毎月のミライ会議の様子やプロジェクトの進捗状況、イベントの開催情報などを随時掲載していきます。Facebookをやっていないなくても閲覧できます。ぜひご覧ください。

※あすか野自治会ホームページのトップページからもアクセスできます。



QRコード

